



もっと知りたい！ピアノ教本 ～どの指から導入しますか？～

全国のピアノの先生方にお悩みを聞くと、多くの方が「手がふにゃふにゃで不器用、家でも練習してこないお子さんが増えている」とおっしゃいます。でも、そんな生徒さんにも良い手の形で美しい音を出せるようになって、音楽を楽しんでほしい！そう考える熱心な先生のお力になりたいと思います。

今回は、「限られたレッスン時間のなかで、美しい音の出せる良いテクニックを身につけるための指導」についての考え方と教材についてご紹介します。



山本美芽

(やまもと・みめ)

音楽ライター／ピアノ教本研究家。『ムジカノーヴァ』『ジャズジャパン』等の音楽専門誌にて、国内外の一流アーティスト・教育者に取材。著書に、『自分の音、聴いてる？』ほか多数。2013年より、全国でピアノ講師向けのセミナーに登壇、200回以上。「ライティング研究会」主宰。

◆3の指またはグーで導入する教本◆

ロシア奏法《はじめの一步》や《Miyoshi ピアノ・メソッド》では白鍵3の指から、アメリカの《ペース》《バスティン》《ピアノアドベンチャー》では黒鍵やクラーター、握りこぶしから導入しているのをご存知ですか？その背景には、19世紀ヨーロッパで生まれた「脱力奏法」が、ロシアから20世紀のアメリカに渡った歴史があります。導入の指が違うことで、どのような効果があるのか。テクニックを育てるうえで生まれるメリットとは。教本を読み解きます。

◆音階とスケールを早期に導入する◆

コンクールで成果をあげている先生方の多くは、全調のスケールとアルペジオを早い段階から取り入れています。優秀な生徒だけでなく、譜読みが苦手で練習しない子どもたちにも効果的なワケは？3の指の導入からスケール・アルペジオにつなげていくまでの橋渡し教材も含めて、具体的にどのように取り入れるのかお話しします。



今回取り上げるテキスト

- ・はじめの一步
- ・Miyoshi ピアノ・メソッド
- ・ペースメソッド
- ・こどものスケールアルペジオ
- ・かんたん！すごい！さきどり！ピアノ・テクニックの本
- ・ピアノアドベンチャー
- ・ピアノのテクニック
- ・バスティン
- ・ムジカノーヴァ（最新号）

今回初めて知る教本も、特徴を知っておくことで生徒さんに合った指導のヒントになります



●日 時
年 月 日 ()

●会 場

●受講料（税込）

会員：円 一般：円

●教 材

『ピアノ教本ガイドブック 生徒を生かすレッスンのために』
山本美芽 著（音楽之友社） *当日会場で販売いたします

●お問合わせ・お申込先

キリトリ線

(FAX:) 行 申込日 月 日

山本美芽公開講座

年 月 日 ()

「もっと知りたい！ピアノ教本」

申込書

お名前			
ご住所	〒		
TEL		FAX	
E-Mail			
種 別	会 員 ・ 一 般		

※〇印をおつけください。ご記入いただいたお客様の個人情報は、この講座の控えとしてのみ使用させていただきます。